

# Schule im Berg

山の文化は、いつの時代にも、安直な文明に対して、批判的だった。  
山の人間は、自ら感じ、求め、歩きながら、静かに語り合った。  
芸術家たちが山に集った、東西の地下水脈を偲びながら。  
2008年夏、新しい学びの場が、那須に甦る。

**アート・フェスタ那須2008**

# 山のシユール

五感の交わる、那須の夏、クリエイティヴのゼロ地点を求める三日間。— サマー・オープン・カレッジ  
**2008年8月29日[金] / 30日[土] / 31日[日] [www.artbiotop.jp](http://www.artbiotop.jp)**

会場=アート・ビオトープ那須・工房(ガラス工房、陶芸工房) / アート・ビオトープ那須・アネックス / にき倶楽部1986(本館)ホール / アート・ビオトープ那須周辺地域  
●主催=第一回 アート・フェスタ那須2008 実行委員会 / NPO法人アート・ビオトープ(共催アート・ビオトープ那須) ●後援=株式会社下野新聞社 / 株式会社栃木放送 / ジャパンタイムズ  
那須町教育委員会 / 葉山文化園 / 連志連衆会 / オランダ王国大使館 ●協賛・協力=植木酒店 / 株式会社マック / 株式会社三喜 / 株式会社みつわランドリー / 株式会社リーフル / 健康医療市民会議 / ココ・ファーム・ワイナリー / さいとう / 田辺建設株式会社 / 千葉防災設備株式会社 / 那須植物園 / 松山油脂株式会社 / アカデミー・デュ・ヴァン / こまつ座 / 株式会社一休  
株式会社コンパスポイント / 株式会社デジタルステージ / スクーリング・パッド / 二期倶楽部 / 東京電力株式会社 / 藤原養蜂場 / マミフラワーデザインスクール / Muse Company / 森羅塾

# アート・フェスタ那須2008 [山のシュレ]

ロマン派芸術を大成して、詩と音楽を、壮大な舞台芸術に融合させたかのヴァーグナーが、バイエルンの小村、バイロイトに自らの劇場を建てたのは、十九世紀末のドイツ。都市生活の息苦しさから逃れて、田園のなかで人間の原点を探りながら、新しい文化のあり方を模索する芸術家コロニーが、以降、ヨーロッパ中に広がった。

風光明媚なマジョーレ湖畔の山麓、アスコーナという小村に集ったのは、舞踊家ダンカン、小説家ヘッセ、思想家ブーバーやシュタイナーなど、文明の単純な進化に疑問を投げかける異端の碩学たち。近代化

で見落とされつつあった、身体論、東洋主義、神秘学、環境問題などが、議論された。運動でも、主義主張でもなく、人間ひとり一人が真にクリエイティブになるために何が有効かを、自由に語り、考える、正に、小さくて、偉大な学校(シュレ)だった。

今夏、この偉大なる、「反文明的」な「学びのトポス」アスコーナにあやかかって、那須の森の木陰に、小さいけれど、互いが自由に学び、夕げには楽しく食べて飲み、静かに親しく交流しあって、本当の豊かな時間を過ごしてもらうために、ひとつのシュレ(学校)を立ちあげる。

## WORKSHOP

スタジオワークショップ

素材に向き合う、原点の探求「ものづくり」

暮らしのかたち 土に親しむ三日間

中村錦平 / 中村洋子 / 樋口健彦

陶芸作家

8月28日[木] / 29日[金] / 30日[土]

●ご注意、開催は28日からの3日間となりますので、ご注意ください。

3日間 30,000円

1日(10,000円)毎の参加も可能ですが、初日の28日(木)受講は、必須となります。中村錦平(前衛東京焼)、中村洋子(メッシュ造形)、樋口健彦(墨吹きつけ)。豪華巨匠三人に体当たりして五感をフルに解放する、至福の三日間。可塑性に富んだ、粘土の醍醐味を極めながら、暮しにインパクトを与える、用や無用の飾りもの、日常意識をひっくり返す思いっきりの造形を生む、ヴィヴィッドでコンテンポラリーな、本格ワークショップ。講座後に、錦平師による、釉薬がけ、コラボレーションのお誘い、ゴージャスなおまけつき。

炉をつくるから始まる四日間 ガラスの魅惑

高橋禎彦

ガラス作家

デモンストレーション見学 1,000円 ※見学解説資料付(当日受付)

8月30日[土] / 31日[日](要予約)

吹きガラス体験 4,000円

8月30日[土] / 31日[日](要予約)

アート・ピオトープガラス工房に欠かせない「吹きガラス」体験三種の神器(グローリホール・徐冷炉・熔解炉)を設置していくところから始まる山のシュレ企画。すべての設備は高橋禎彦さんの監修の下、専門スタッフ、ガラス専攻の学生らにより、設計から材料調達、また、熔接や切断など、すべて手作業で設備設置を行う。後半の2日間では、完成した設備を使って、実際に、高橋禎彦さんが公開デモンストレーション。一般見学、そして、制作体験ができる。ガラスという素材を身近に感じることができるワークショップ。

ガラス工房プログラム(当日予約)

ガラス工房では、他、とんぼ玉やマドラーなどが制作できるバーナークラス体験も開催予定。オリジナルの作品づくりに気軽に体験できる。



体験ワークショップ

自然、文化、風土を感じる

室礼 日本の風土と美の風習

山本三千子

室礼研究者

8月30日[土]11時~15時30分 ●90分の休憩を挟みます。

参加料金 8,000円(教材費込)

四季の風土、季節に合わせた、自然への讃歌と感謝をしつらえて、美しく楽しんできた、古来からの風習をおさらいして、実践的・体感的に、追体験するワークショップ。

ミツバチが結ぶ、人と自然  
ミクロでマクロな環境学

藤原誠太

養蜂家

8月30日[土]14時~18時

参加料金 6,000円

独自に日本ミツバチの飼育法を開発(藤原式)し、養蜂関係特許を多数保有する養蜂家が、蜂の神秘、特性、ハチミツの効能や利用法まで、ハチミツの極意を、じっくりとワークショップを盛り込み、語る。

ベルエポック・古き良き時代の仏蘭西料理

宮崎康典

二期倶楽部総料理長

8月31日[日]11時~13時

参加料金 6,000円

シンプルなうえにシンプル。深くてまた、瞑想的。そんな、季節の食材を使った、フレンチの、季節料理の真髄を、二期倶楽部総料理長として、繊細かつ大胆な辣腕を振るう、ムッシュ宮崎が開陳。

バロック音楽とチェンバロに親しむ

平かおり

チェンバリスト

8月31日[日]14時~18時

参加料金 6,000円

軽やかな音色に、激情的なハーモニー。いつの時代にも、私たちに虜にしてやまない、バロックの魅力に、チェンバロで迫ります。初心者でも、弾いて、触って、初めて感じる、バロック体感教室。

身近で深い地域 生態学 山野草・採集から料理まで

篠原準八

山野草研究者

8月31日[日]11時~15時30分

参加料金 6,000円

足元の野草を見ずして、なにを語るか——子供の教育と地域振興の一体化、産業・観光・福祉・環境…と、地域それぞれのやりかたで、野草文化を華開かせることに努め、活躍している篠原準八先生と歩く那須の山。野草の様々な可能性とともに、野草の見分け方、採取の仕方、そして食し方を知り、体験していきます。

